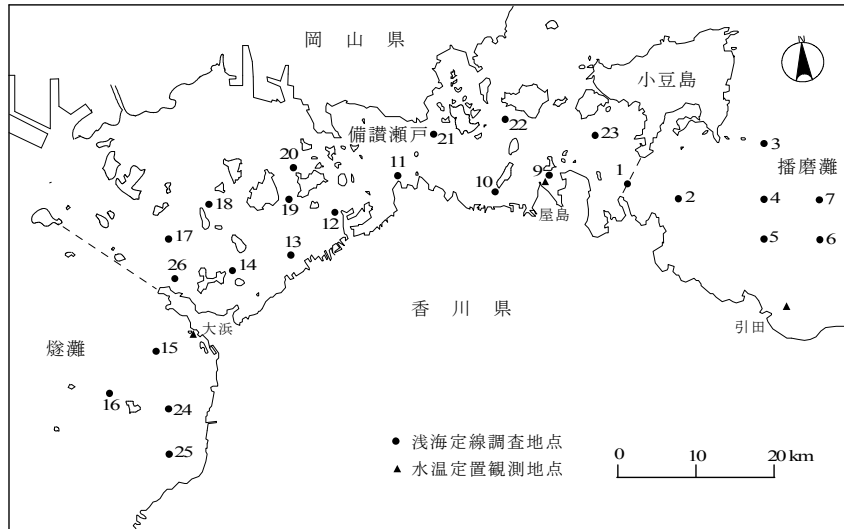


香川県漁海況速報 平成21年4月(H21-1号)

香川県水産試験場

1. 海況

1) 観測地点



2) 浅海定線調査

(1) 調査日

平成21年4月3日(播磨灘)、6日(備讃瀬戸、燧灘)

(2) 水質概況

平年と比較すると、水温は「やや高めからかなり高め」、塩分は「平年並みからやや高め」、透明度は「やや高め」、溶存酸素は「著しく低めからかなり低め」であった。

		水温 (°C)			塩分 (PSU)			透明度 (m)	溶存酸素 (ml/l)	
		表層	10m層	底層	表層	10m層	底層		表層	底層
播磨灘	7地点平均値	11.4	11.0	10.8	32.8	32.7	32.7	9.8	5.71	5.80
	平年値	10.5	10.1	9.8	32.4	32.5	32.6	8.6	6.45	6.17
	平年偏差	1.0	0.9	1.0	0.4	0.2	0.1	1.2	-0.74	-0.37
	状況	やや高め	やや高め	やや高め	やや高め	平年並み	平年並み	やや高め	著しく低め	かなり低め
備讃瀬戸	14地点平均値	11.9	11.8	11.7	33.2	33.2	33.2	6.7	5.50	5.52
	平年値	10.6	10.5	10.5	32.6	32.7	32.7	5.6	6.21	6.18
	平年偏差	1.3	1.3	1.3	0.6	0.6	0.6	1.0	-0.71	-0.66
	状況	かなり高め	かなり高め	かなり高め	やや高め	やや高め	やや高め	やや高め	著しく低め	著しく低め
燧灘	4地点平均値	12.8	11.7	11.6	33.3	33.4	33.5	10.3	5.52	5.39
	平年値	11.7	10.7	10.5	32.9	33.1	33.1	8.4	6.29	5.94
	平年偏差	1.1	1.0	1.1	0.4	0.4	0.3	1.9	-0.77	-0.54
	状況	やや高め	かなり高め	かなり高め	やや高め	やや高め	やや高め	やや高め	著しく低め	かなり低め

平年偏差 = 平均値 - 平年値

平年値の算出期間

水温、塩分及び透明度：昭和48年(1973)1月～平成13年(2002)12月

溶存酸素：昭和48年(1973)2月～平成13年(2002)12月

水温は、毎月1日の値に補正。

平年並み $0\sigma \leq \text{平年偏差} < 0.6\sigma$ (σ : 標準偏差)

やや高め(やや低め) $0.6\sigma \leq \text{平年偏差} < 1.3\sigma$

かなり高め(かなり低め) $1.3\sigma \leq \text{平年偏差} < 2.0\sigma$

著しく高め(著しく低め) $2.0\sigma \leq \text{平年偏差}$

3) 定置観測 (水温)

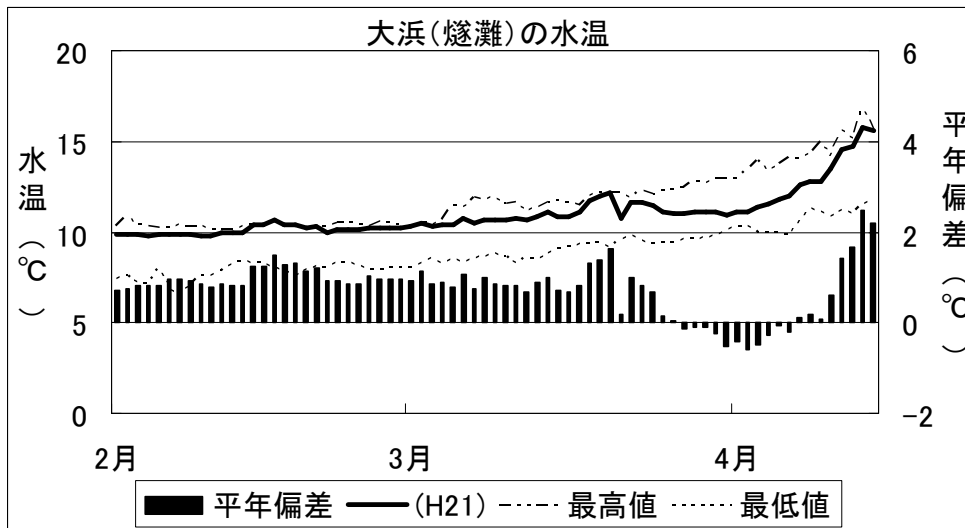
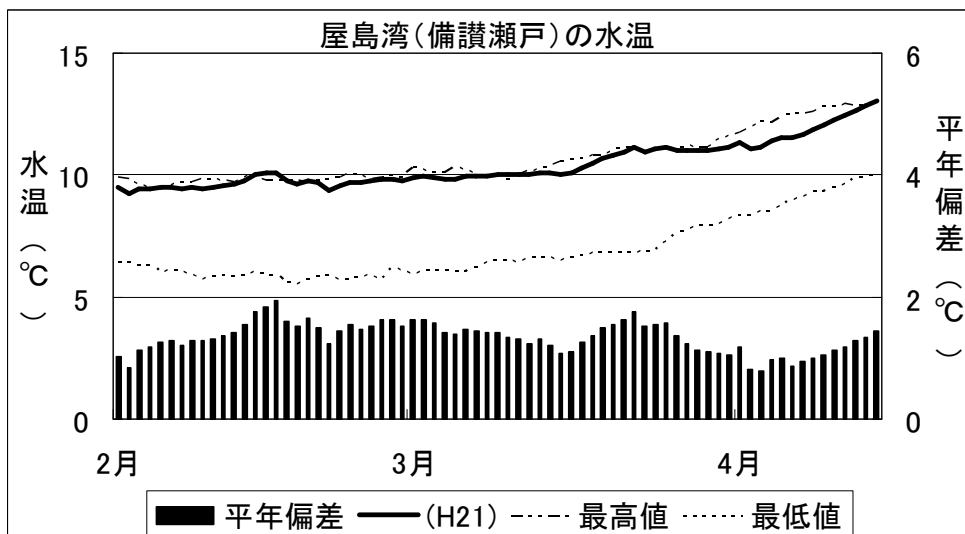
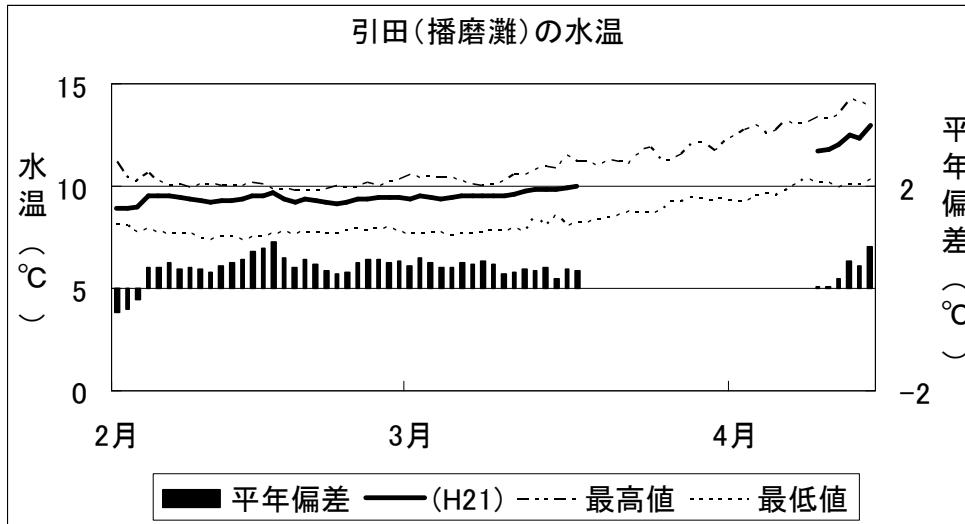
播磨灘 (引田) : 2月以降平年並みからやや高めで推移している。

備讃瀬戸 (屋島) : 2月以降著しく高めで推移している。

燧灘 (大浜) : 2月以降やや高めで推移し、3月下旬から4月上旬にはやや低めとなり、その後、著しく高めで推移している。

平年値の算出期間 引田及び大浜 : 平成元 (1989) ~平成 20 (2008) 年

屋島 : 昭和 50 (1975) ~平成 20 (2008) 年



4) 赤潮 (3月12日～4月14日)

播磨灘：4月13日から南西部においてノクチルカ赤潮が発生している。

備讃瀬戸：発生なし。

燧灘：発生なし。

5) 卵稚仔

調査日：平成21年4月3日 (播磨灘)、6日 (備讃瀬戸、燧灘)

出現量

		カタクチイワシ		マイワシ		サワラ		その他の魚類	
		卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘	平均値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25
	平年値	0.00	0.00	0.01	0.01				
	対平年 (%)	-	-	0.00	0.00				
備讃瀬戸	平均値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00	0.66	0.00				
	対平年 (%)	-	-	0.00	-				
燧灘	平均値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.13	0.00	1.79	0.02				
	対平年 (%)	0.00	-	0.00	0.00				
総平均	平均値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.07
	平年値	0.03	0.00	0.75	0.01				
	対平年 (%)	0.00	-	0.00	0.00				

－：平年値が0の場合を示す。

平年値の算出期間

カタクチイワシ：昭和55年(1980)～平成20年(2008)年度

マイワシ：平成5年(1993)～平成20年(2008)年度

各調査点でカタクチイワシ卵の出現はなかった。

－：平年値が0の場合を示す。

平年値の算出期間

カタクチイワシ：昭和55年(1980)～平成20年(2008)年度

マイワシ：平成5年(1993)～平成20年(2008)年度

各調査点でカタクチイワシ卵の出現はなかった。

2. 漁況

3月からの漁況は次のとおりである。

海 域	漁 況
播 磨 灘	<p>底びき網では主にウシノシタ類、メイタガレイ、ヒラメが漁獲されているが、全般的に低調である。</p> <p>柵網では主にボラ、スズキ、クロダイ、ヒラメ、マダイ、コウイカ類が漁獲されている。</p> <p>サワラ流し刺し網は4月20日から操業が開始される。</p>
備 讃 瀬 戸	<p>底びき網では主にウシノシタ類、メイタガレイ、ヒラメ、フグ類、テナガダコが漁獲されている。</p> <p>高松・庵治沖のイカナゴ込網の3月までの漁獲量は、241トで、前年同期の30%であったが、シンコは48トの漁獲にどどまり、前年同期の6%と極めて低調である。</p> <p>中讃・高松沖のタイラギ潜水器漁業は4月10日で漁期を終了し、漁獲量は前年の約80%であった。</p>
燧 灘	<p>底びき網では主にメイタガレイ、ウマヅラハギ、ヒラメ、フグ類、オニオコゼ、小エビ類を漁獲されているが、全般的に低調である。</p> <p>柵網は3月15日から漁期が始まり、主にマダイ、ウマヅラハギ、ヒラメ、コウイカ類が漁獲されているが、特に、ウマヅラハギが前年と比べて少ない。</p> <p>さより機船船びき網は4月10日から漁期が始まり、漁獲量は100kg/日・統前後で平年よりやや少ない。</p>